

あひま ササナ

2012



vol.115

8

はいっ ポーズ!

《温根湯地区・大和》

山梨めぐみさんと玄稀^{げんき}くん

(紹介は2ページです)

特集

- 乳牛90頭 美と力強さを競演
～第9回JAきたみらい乳牛共進会～
- 食べて鍛えて健康な体をつくろう



秋まき小麦収穫

季節の薫り



7月下旬、夏らしい蒸し暑い日が続くなか、きたみらい区域の秋まき小麦の収穫が7月31日からスタートした。5月から6月の低温・干ばつ傾向から実入りが心配されたが、その後は好天に恵まれ生育が回復、収穫開始は昨年より2日遅れとなった。きたほなみに全面転換して今年で2回目の収穫を迎え、昨年を上回る収量を期待し、生産者の皆さんは天気予報と長年培った経験を生かし刈り取りを進める。



【JAきたみらい区域の秋まき小麦作付け面積は約4,810㍎。写真は7月31日、相内地区・豊田の松田康文さんの圃場で撮影。相内地区では76戸の生産者が約490㍎を作付けしています】

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「冷製・めんたいパスタ」 「鶏肉のカレーマリネ」	22
○JAからのお知らせ	16
○ほのぼのの広場 ・きたみらいのホープさん ・思い出の写真 ・マイティスト 「オートバイ」 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・まちがいきがし ・読者の声	12
○JAきたみらい ホットライン東西南北	8
○表紙紹介 「たくましく育って」	2
○季節の薫り	2
特集① 乳牛90頭 美と力強さを競演 〜第9回きたみらい乳牛共進会開催〜	4
特集② 食べて鍛えて 健康な体をつくらう	6

表紙紹介

たくましく育って！

青空が広がった7月24日、山梨さん宅に着くと、保育園に通う玄稀くんと家族の皆さんが迎えてくれました。玄稀くんは、初対面の私たちにやや緊張気味でしたが、撮影の時は可愛い笑顔で応えてくれました。

もうすぐ2歳の誕生日を迎える玄稀くんは、外遊びが大好きで、今は牛にも興味津々です。小さなホーキやスコップを持って、牛舎内の通路掃除や子牛の餌やりなどを手伝い、その後牛乳を飲み、大好きなヨーグルトを食べるのが楽しみです。

この春から温根湯温泉保育園に通っていますが、「最近、おじいちゃん」と「乾杯」することを覚えました。玄稀くんはお水、おじいちゃんにはビールで乾杯します。取材後に飲み物を頂いた時も、「カンパイ！」と嬉しそうに、「コップを私たちの前に差し出してくれました。

お父さんとお母さんはそんな玄稀くんを見て、「たくましく育って欲しい」と話してくれました。



【ご家族紹介】
右から～お父さんの一将さん(48)と玄稀くん(1)、お母さんのめぐみさん(40)、おばあちゃんの桂子さん(72)、おじいちゃんの博志さん(72)。
山梨さんは、経産牛や育成牛など110頭飼育する酪農専業経営です。

特集

乳牛90頭

美と力強さ競演

第9回JAきたみらい乳牛共進会がきたみらい酪農振興協議会と共催で7月21日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われ、90頭の乳牛が体型の美しさや骨格の力強さなど、資質を競い合いました。会場では部門毎の予想コンテスト、きたみらい牛乳やポップコーンの無料配付、子供向けにお楽しみコーナーや焼き肉広場、お楽しみ抽選会などを開催、大勢の来場者の皆さんが楽しんだ様子を写真で紹介しします。

第9回JAきたみらい乳牛共進会



「ぷっかん
きたみらい牛乳
おいしい！」

▲牛乳消費拡大運動で無料配布された「きたみらい牛乳」をおいしそうに飲む幼児



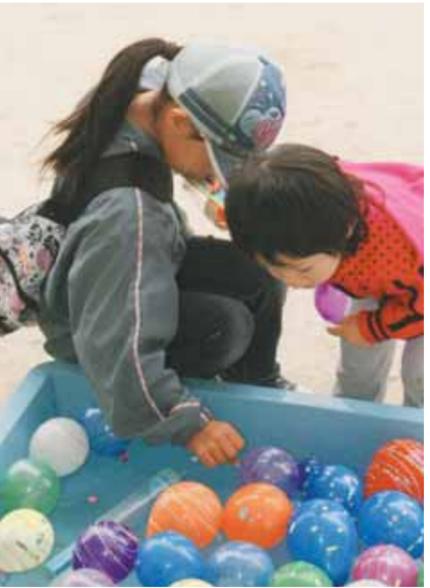
▲主催者を代表して開会挨拶を述べる西川組舎長



▲来賓を代表して祝辞を述べる小谷北見市長



◀審査員を務めた釧路市憐敬和ファームの成田純哉代表。眼光鋭く出陣牛を審査、上位より手で指し序列を示していく



▲お楽しみコーナーでヨーヨー釣りを楽しむ児童



▲未經産・経産の部の最高位準最高位の栄誉に輝いた4頭と関係者の皆さん

【未經産の部】	最高位「DH アタック ダンディー」	北見・山内 雅斗氏 (右2頭目)
	準最高位「ロイヤルクイーン アウトウッド リンダーチャン」	訓子府・稲辺 祐也氏 (右1頭目)
【経産の部】	最高位「パーチル アール D カイト」	訓子府・渡辺 重明氏 (左2頭目)
	準最高位「ローズウエル ブルーローズ E T」	訓子府・森岡えり子氏 (左1頭目)



▲第7部2歳経産ジュニア・シニア・後代検定(初産)クラスの順位を審査する成田審査員



▲共進会終了後、焼き肉広場で置戸町の篠原牛を家族ぐるみで満喫



▲焼き肉広場で共進会成功の謝辞を述べるきたみらい酪農振興協議会の伊藤会長



食べて鍛えて

健康な体を

つくろう！

7月28日から始まった4年に一度のロンドン五輪。日本人選手の活躍を見ようと深夜までテレビ中継を見入り、寝不足の方も多いのではないのでしょうか。鍛え抜かれたアスリートたちの肉体と精神は、日々のトレーニングと食生活によってつくられています。

世界で活躍するトップアスリートの皆さんは日頃、どのようなことに気を配って食生活を送っているのでしょうか。

監修：橋本玲子
(株式会社フードコネクション代表取締役)



世界で活躍するアスリートの「食」の共通点

これまで私は、サッカーやラグビー、スキーにゴルフなど、世界で活躍する日本のトップアスリートの食生活を数多く見てきました。一流と呼ばれるアスリートの食生活にはいくつか共通点があり、それが強い肉体と精神を養うための重要な要素になっています。日ごろアスリートのように激しい運動をしない私たちの健康づくりにも、参考になるヒントが数多く隠されています。

●食べるのが好き……日常口にするものに気を配ることは、「食べる」と興味を向けられれば出来ません。けがが多く、風邪を引きやすかったり、こそとというときに力を出し切れない選手の中には、空腹を紛らわすために好きなときに、好きなものだけ食べる人も少なくありません。一方世界で活躍するアスリートの多くは、子どもの頃から「食」に興味を持てる環境で育ち「何を」「いつ」「どれくらい」「誰と」「どのように」食べるか、といったことを常に意識しながら食生活を送っています。

●五感をフルに使って食べる……日々、激しいトレーニングや試合を繰り返す選手にとって、食事は唯一リラックスして過ごせる時間でもあります。それだけに、料理の味付けや香り、歯ごたえなどに敏感な選手が多く、食べ物「おいしさ」と五感が深く関わっていることに、あらためて気づかれます。

●サプリメントを必要以上に取らない……食事に気を使う選手ほど、サプリメント(栄養補助食品)に安易に頼らず、食事で補い切れないものだけを取る工夫をしています。

トップアスリートの食べ方から学ぶ健康的な食習慣

日本人の健康と栄養に関する最新の調査によると、肥満や高血圧、糖尿病、高コレステロールなどの生活習慣病は、依然、増加傾向にあります。その原因といわれているのが、運動不足や朝食の欠食、野菜不足、食塩と脂肪の過剰摂取などによる食生活の偏りです。

忙しい現代人にとって、生活習慣を大きく変えることは至難の業。それでも今回紹介したよ

日常生活活動で消費するエネルギー量の目安(成人女性の場合)

- ストレッチング 20分：約50kcal
- 自転車 15分：約60kcal
- 料理やアイロンがけなどの軽い家事 30分：約65kcal
- 子供と遊ぶ、動物の世話(軽め) 30分：約80kcal
- 犬の散歩や買い物などの歩行 30分：約85kcal
- 庭の草むしり 30分：約130kcal

※消費エネルギーは体重などにより個人差があるため、目安として下さい。

参考資料：「健康づくりのための運動指針2006」(厚生労働省)



野菜がとれるおすすすめメニュー

外食の場合

- 主食：ピビンバ丼、タンメン、チャンポン、五目あんかけ焼きそば
 主菜：野菜炒め、レバニラ炒め、チンジャオロース、八宝菜、冷しゃぶサラダ
 副菜：きんぴらごぼう、ほうれん草のおひたし、ナムル盛り合わせ、蒸し野菜、サラダ
 汁物：けんちん汁、ミネストローネ、ポトフ



コンビニの場合

- 主食：ハム野菜サンド、パスタサラダ、冷やし中華
 主菜：肉じゃが、ゴーヤーチャンプルー、野菜炒め
 副菜：煮物盛り合せ、ナスの煮びたし、スティックサラダ、ポテトサラダ、野菜サラダ
 汁物：野菜スープ、豚汁
 ※チルド袋に入った冷蔵パックのお総菜やサラダを食卓に1品加えるのも一案。



プロフィール
橋本 玲子 (はしもと れいこ)
両親の仕事の関係で、幼少からシンガポール、ノルウエー、米国などで12年間を過ごし、帰国後、管理栄養士の資格を取得。
2000年4月、栄養コンサルティング会社を設立し、以降欧米の健康と栄養に関する情報の収集、普及に努める。
現在はプロサッカークラブや社会人ラグビーチームの栄養アドバイザーを務める傍ら、食品企業・団体向けのメニュー提案や栄養教育ツールの監修、講演活動など、幅広く活躍している。

うに、トップアスリートたちと同じように、自分に合った食べ方を見つけて、それを続けていけば、結果は必ずついてくるはず。朝食を取る習慣がない人は、せめて旬の果物を食べ、お茶を飲む。野菜不足が気になるのなら、野菜ジュースを飲んだり、外食の際に野菜の多いメニューを選ぶ。濃い味付けを変えられない人は、減塩の調味料に切り変える。お酒を飲み過ぎてしまう人は、カロリーや糖質を抑えたノンアルコール飲料にシフトする。脂肪の取り過ぎが気になる人は健康オイルや、油分を控えた調味料を使う。運動が苦手な人は、買い物や家事でなるべく体を動かす。今年はおリンピックの試合を見ながら、皆さんご自身の健康生活について振り返ってみてはいかがでしょうか。

地域のお祭り 地元住民でにぎわう

～なんだあーふれあい祭りで
紅白餅を配布～

相内



▲出店のヨーヨー釣りを楽しむ児童

相内地区では「第23回なんだあーふれあい祭り」が7月8日、駅前広場で開かれ、大勢の地域住民が参加しました。お祭りには、相内地区事務所、同地区青年部とフレッシュミズも協賛。

フレッシュミズは、味噌おでんや輪投げ、ヨーヨー釣りを出品しましたが、おでんコーナーは、用意した約100食が完売し大盛況でした。輪投げコーナーでは、子供たちが何度も挑戦し、輪が入ると大きな歓声が上がっていました。会場に訪れた皆さんは、配布された紅白餅、イベント景品を片手に、お祭りを満喫していました。

会員間で 親睦を深める

～視察研修に
会員8名が参加～

湯根温



▲入浴剤作りの体験をする会員のみなさん

フレッシュミズ温根湯支部（下込祐美支部長）は、7月2・3日の2日間、旭川、札幌方面へ視察研修を行い、会員8名が参加しました。

初日は旭川市にある「伝統美術工芸村」で、伝統的な手織り物工芸品の優良良織（ゆづからおり）と、雪をイメージして作られた雪の美術館を見学。砂川市の「ローレル」は、入浴剤や石けんなどを製造・販売し

ている会社ですが、ここでは会員それぞれがオリジナルの入浴剤の手作り体験をしました。

2日目は札幌市の「千歳鶴ミュージアム」にて、歴史ある蔵造りを見学し、「ここでしか手に入らない蔵限定酒を買い求めています。参加した会員の皆さんは心身のフレッシュをして、会員間の親睦を深めています。

東 西 南 北

▼麦のしぼり方を説明する長部支部役員



KAMITOKORO

上常呂

食農教育で 小麦を収穫

～上常呂小学生59人
秋小麦収穫体験～

青年部上常呂支部（川畑師和支部長）は7月23日、上常呂北上にある秋まき麦の圃場で、小麦の収穫体験を実施、上常呂小学校の3年から5年生、59人が参加しました。

長部支部役員より、秋小麦の説明と作業中の事故防止を呼びかけた後、児童は手に鎌を持ち、一斉に麦を刈り始めました。最初、児童はおっかなびっくり刈

り取っていましたが、慣れるうちに互いに競争し始め、終盤には上手に手早く刈り取れるようになっていました。参加した児童は「楽しい、もっと刈りたい」と楽しんでいました。

刈り取られた小麦は、乾燥・脱穀・製粉し、11月頃に同地区のフレッシュと一揃に食農教育が計画されており、この小麦粉を使った「うどん作り体験」に使用されます。

▼お菓子作りを楽しむ会員



OKETO

置戸

一泊研修で リフレッシュ

～工場見学などに
会員8名が参加～

フレッシュミズ置戸支部（安西千春支部長）は、6月11・12日の2日間、会員8名が参加し視察研修を行いました。

2日目のくるるの杜では、プリッツ風人参のお菓子作りを体験、人参が苦手な会員も、出来上がりの試食では「美味しい」と満足し、それぞれ家族へのお土産にっていました。その後は、農畜産物産直所を見学、レストランで道産食材を使用して作られたバイキング料理を満喫し、帰路につきました。

良質馬鈴薯の生産収穫に向けて

～青空教室に93名が参加～



▲担当者の説明を聞く生産者のみなさん

端野町馬鈴薯振興会（島倉英一会長）は7月24日、4会場で青空教室を行い、生産者93名が参加しました。講師に名古屋、大阪の市場から馬鈴薯担当者2名と網走農業改良普及センターの酒井幸子地域第1係長を迎え、平成24年産販売情勢及び馬鈴薯の生育状況と今後の栽培管理について説明を受けました。今年の馬鈴薯植え付けは、平年より6日ほど早く推移していましたが、季節外れの降雪などもあり、開花期で3日ほど遅い状況です。事務局から販売状況や収穫・出荷にあたっての注意点を説明後、選別目安合わせを行い、生産者の皆さんは写真だけではなく実際のサンプルを見ながら熱心に説明を聞き、疑問な点は質問しながら、これから始まる収穫、選別に向けて確認しました。

家族ぐるみで交流と夕涼み

～ビールパーティーに320人参加～



▲組合員家族でにぎわったビールパーティー

青年部北見支部（福井慎一支部長）は7月6日、ビールパーティーをJAセンター事務所横の吹き抜け倉庫で開き、組合員家族や農業関係者など約320人が参加しました。同青年部OBの「地域の人たちといっしょにいたい」という思いから、「オーイっぶくするべや」と銘打ち、今年で20回目となります。福井支部長は「今年も先輩の思いを継続しビールパーティーを開催することができました。交流を図りながら夕涼みを楽しんでほしい」と参加者に呼び掛けました。北見市玉葱振興会青年部と同馬鈴薯青年部からタマネギやバレイショが提供され、参加者は焼き肉とともに味わいました。折られた自転車当たる抽選会では当選番号が伝えられると会場からは大きな歓声が上がっていました。



▼香ばしい匂いに包まれた講習会



おいしくなあれと願いをこねて

～パン作りに部員11名が参加～

女性部留辺薬支部（春木君枝支部長）は7月17日、おんねゆ温泉農業交流センター「花える」で「パン作り講習会」を行い、部員11名が参加、地場農産物と部員間交流を目的としたパン作りに取り組みました。部員は道内産小麦「はるゆたか」を使って一次発酵されたパン生地から「豆パン」や「ウインナーパン」自宅の畑から持ち寄った玉ねぎやピーマンをトッピングした「ピザパン」を作り、オーブンで焼き上げると香ばしい匂いが漂い、全部で240個のパンを焼き上げました。春木支部長は「パンを作るときも食べる時も笑い声が絶えず、楽しい講習会となりました。皆さんも満足しているようよかった」と笑顔で話して下さいました。

▼8日間で仕上げた青年部の手作り行灯



手作り行灯で農業をアピール

～ワイルドな本格焼酎を描いて～

青年部訓子府支部（大畑圭吾支部長）は7月7・8の両日、訓子府町で開かれた第33回くんねっぶふるさとまつりの「行灯パレード」に参加し、地元農業と特産物の消費拡大をアピールしました。部員の皆さんは農作業を終えた夕方集まり、行灯に馬鈴薯の新品種「スノーマーチ」を原料にした本格焼酎「訓粋（くんすい）」をお笑いタレント「スギちゃん」が手に持ち

「訓粋、ワイルドだぜ！」と呼び掛けているように描き、8日間で仕上げました。7日の前夜祭のパレードには、青年部の他、町内企業や団体など8チームが出場。大畑支部長は「地元農業の良さを若い力で伝えたい」と話し、行灯を力強く引いていました。8日の本祭では、会場入り口で牛乳の無料配布を行い、消費拡大も訴えました。

私のパートナー



今月号の私のパートナーは、酪農を通して出会い、結婚7年目になる阿部祐一さん、祐子さん夫妻を紹介します。

酪農が好き

北見地区・美里

阿部 祐一さん(28歳)
祐子さん(29歳)

- Q ご結婚されたのはいつですか？**
平成17年の5月です。
- Q 知り合ったキッカケは？**
仕事を通じて知り合いました。祐子さんが酪農ヘルパーで、祐一さんがサブヘルパーでした。
- Q 結婚を決意した大きなポイントは？**
お互い酪農が好きだからです。
- Q 祐子さんの出身地は？**
湧別出身で、実家も酪農を営んでいます。
- Q どんな家庭を築きたいですか？**
明るい家庭を築いていきたいです。
- Q お互いに感謝しているところは？**
祐子さん「私のわがママを聞いてくれるところ
です」
祐一さん「日中など娘の面倒をほぼ一人で見て
くれていることです」
- Q 目指す農業は？**
現在よりも規模を拡大したいと考えています。
また、新しい機械を導入し、ゆとりのある農業
を行いたいです。

左から～祐子さん、長女の有希(ゆうき)ちゃん(6歳)、祐一さん



【写真説明】
第3回大会でV3を成し遂げた実郷ファームの部員の皆さん。同大会を築き上げ、同チームの監督を務めた高橋さんは、前列の左端です。

訓子府地区・実郷
高橋 忠一さん(65歳)



思い出の写真

農村青年野球大会

この写真は、昭和61年7月7日に訓子府高校野球場で開かれた「第3回農協組合長旗争奪農村青年野球大会」で、「実郷ファーム」がV3を果し、記念の1枚として撮影されたものです。高橋さんは、同チームの監督兼プレイヤーとして活躍されました。当時、町内の職場チームなどを中心に朝野球が盛んに行われ、農村地域にも広がりました。昭和57年頃には農村青年で作るチームが8チームとなり、町野球連盟に加入し、朝野球などで活躍していました。「農村青年主体のチームが年に1回、試合を通じて交流を図りたい」と考えた高橋さんは早速、当時の訓子府町農協に支援と協力を要請。要請を快く受けた農協は、「組合長旗」を贈呈。これを機に、昭和59年から「農協組合長旗争奪農村青年野球大会」が始まりました。審判は当時の農協野球部の部員があたり、大会終了後の焼き肉懇親会で各チームの選手を始め、職員との交流と親睦も深めました。本大会はJAきたみらいが誕生するまでの平成14年の第19回まで続けられました。当時の大会の写真を見つめながら高橋さんは「スポーツを通して築き上げた交流が、28年を経過した今も生きている。快く真紅の優勝旗を贈呈してくれた農協に、今でも感謝している」と懐かしそうに話してくれました。

マイテイスト オートバイ

川村さんは多くの趣味を持っていますがその1つがオートバイです、高校通学のために乗り始め、以来30年近くの趣味となっています。今、主に乗っているバイクはハーレーダビットソンストリートグライド1600ccとハーレーのダイナ1450cc、ホンダCB750Fです。川村さんはオートバイの魅力について「ハーレーはブランドとしても好きだし、形も格好いいがなんといっても音がいい、CBは30年程前の錆だらけだったものをこつこつと5年間掛けてレストア(修復)しここまで仕上げた」と乗るだけでなく、修復などにも興味があつている。普段は月に3回程度、気の合う仲間とツーリングに出かけ遠くは洞爺湖温泉などにも出かけたりしています。オートバイは夏は走って楽しみ、冬の乗れない時期でもレストアなどして、1年中楽しめますと話してくれました。



上常呂地区・常川
川村 法幸さん(45歳)



▲ 左:レストアした昭和56年初年度登録のホンダCB750F
中:ハーレーダビットソンストリートグライド2009年モデル
右:ハーレーダビットソングライド1990年モデル

ほのぼのの広場



きたみらいの
ホープさん

高品質の肉牛生産を!

留辺蘂地区・花園
藤田 稔彦さん(27歳)

稔彦さんは、畜産経営と合わせて、白花生・小麦・牧草を作付けしている敏秋さん、由美子さん夫妻の長男で就農して2年目です。

- 趣味は？**
卓球です。最近は忙しく、なかなかできませんが少年団で教えたりしています。
- 理想の女性？**
気が合う方です。
- 結婚はいつ頃までに？**
30歳までにはしたいです。
- 好きな食べ物、嫌いな食べ物は？**
好きな物は寿司と焼き肉(特にサガリ)です。
嫌いな食べ物はキノコ、レバーです。
- 農業に対する抱負は？**
病気をなくし、安定した値段がつくような高品質の肉牛を生産していきたいです。

9月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部温根湯支部の?さんを予定しています。広報編集委員が突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

INFORMATION

夏期地区別懇談会終える

活発な意見や質問82件

6月30日から7月4日までの4日間、1地区1会場でJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族の皆さんなど297名が出席しました。

JAからは、常勤役員と地区の役員が出席、地区運営委員長の司会により進行されました。

3時間という限られた時間の中で、8会場において次の項目について説明した後、数多くの組合員の皆さんから活発な意見と質問が延べ82件出されました。

- 懇談会では
- 営農指導事業から
 - ・ 「土地改良事業のJA集約後の取り組みについて」
 - 青果・農産事業は
 - ・ 「各農産物の情勢」など7項目
 - 畜産事業は
 - ・ 「酪農畜産をめぐる情勢」
 - 購買事業は
 - ・ 「生産資材情勢」
 - 金融共済事業は
 - ・ 「個人連帯保証に係る金融庁監督指針の改定に伴う保全の対応について」など2項目
 - 総務企画部門は
 - ・ 「女性参画促進に向けた取り組みについて」
- 以上の他に、「生産者組織の状況」などが事前に配布された資料に基づ



▲女性参画促進への取り組みについて質問する温根湯地区の高橋圭司さん



▲青年部の懇談会参加促進と育成について質問する北見地区の西原宏さん



▲組合員の質問に答える西川組合長

き説明しました。

なお、地区毎の出席状況は別表の通りです。懇談会4日間で行われた質問・意見・要望などについては、その場で考え方を回答致しましたが、検討を要する事項については、7月開催の第6回理事会で協議した後、「Q&A」にてお知らせ致します。

地区毎の出席状況				
懇談会日	地区名	組合員戸数	出席戸数	出席率(%)
7/4	温根湯	77	19	24.7
7/3	留辺蘂	39	18	46.2
7/3	置戸	118	32	27.1
7/2	訓子府	318	69	21.7
7/2	相内	112	28	25.0
7/4	上常呂	126	26	20.6
6/30	北見	223	38	17.0
6/30	端野	211	67	31.8
合	計	1224	297	24.2



▲端野地区事務所の会議室に組合員67名が出席して開かれた懇談会

がんばれ 東北! 北海道も応援

福島復興祈り 七夕マルシェ参加



▲JAきたみらいの加工品を販売する福島大学の学生

JAきたみらいは7月7日、福島市のJA福島ビル特設会場で開催された「ふくしま復興七夕マルシェ」に参加し、当JA特産のレトルトカレーやドレッシングなどを販売しながら連帯を呼び掛けました。

同マルシェは福島県や福島大学などが主催。安全・安心な農産物や加工品の販売を通して県産品の風評被害を振り払い、福島の復興につなげることを目的としたものです。

東日本大震災から1年が経過した今、農業生産者と同大学の学生が話

し合い、企画されたものです。地元JA伊達みらいや県内各JA、直売所など約40団体が出店しました。

全国で「みらい」と名の付くJAは年に1度、サミットを開いており、JAきたみらいは、JA伊達みらいなどとのつながりから昨年、「福島復興街なかマルシェ」に初参加し、今回も率先して駆けつけました。

会場内には生産者と消費者の親交を深める「ファーマーズ・カフェ」が設けられ、大坪常務が生産者の立場で参加しました。地元の農業青年から「同じ生産者の立場として、県外から見た福島をどう思いますか」という質問に対して、大坪常務は「環境整備が思うように進まない中、大変な苦労と努力に胸が熱くなる。仲間として福島の思いを道民や国民に伝えていく行動が重要と感じる」と強調しました。



▲福島の農業青年の質問を真剣な眼差しで聞く大坪常務(左)

大産地の責任確認

生産者交流会に180人

きたみらい玉葱振興会

JAきたみらい玉葱振興会は7月5日、当JAのセンター事務所第7回生産者交流会を行いました。極早生種と早生種の収穫開始を8月に控え、長期安定出荷など産地として消費者の期待に応えていくことを確認しました。生産者や市場関係者、JA役員など約180人が出席しました。

果たすため、われわれ生産者が結束しよう」と呼びかけました。当JAの坂下専務は「系統集荷率をさらに向上させ、消費地の期待と信頼に添えたい」と、日本一の産地としての責任を果たすことを強調しました。

その後、東京と佐賀の市場担当者は消費地動向を、ホクレンが加工情勢などを報告。また当JAの技術開発グループの庄子マネージャーがト



▲「生産者が結束しよう」と呼びかける小野会長

リフト対策、同振興会青年部の杉山部長は早期定植による収量と品質比較試験結果を報告しました。



▲市場担当者から消費地動向に関する報告を聞く生産者のみなさん

選果基準と安定供給を確認

目ぞろえ会と生産者交流会開く

きたみらい馬鈴薯振興会

きたみらい馬鈴薯振興会は7月19日、センター事務所横の吹き抜け倉庫で馬鈴薯の「目ぞろえ会」、事務所大会議室で「生産者交流会」を行いました。



▲見本の馬鈴薯を確認する生産者のみなさん

目ぞろえ会には、生産者や市場関係者、JA担当職員ら約100人が参加。前進栽培などの収穫開始前に、選果基準を厳守して品質統一を図ることなどを確認しました。

会場を移して行われた生産者交流会には、JA役員を含め約150人が出席。高品質な正産品を長期間、安定出荷するなど、消費者の期待に



▲堺副会長の産地情勢報告を聞く来賓と市場担当者のみなさん。円写真は「高品質な馬鈴薯を供給しよう」と呼びかける平川会長

INFORMATION

「サラ玉」収穫たけなわ

端野町サラ玉生産部会

端野地区の畑では、早生種の玉葱「サラ玉」の収穫作業が盛んに行われています。7月23日から端野地区の選果場で選果も始まり、約400トの生産量を見込んでいます。

サラ玉は、サラオニオンとも呼ばれ、水分が多く辛味が少ないのが特徴で、サラダなどに向き、主に端野地区で栽培されています。

生産者33戸で「端野町サラ玉生産部会」を構成し、今年の作付けは10

畝。5、6月の天候不順で生育が心配されましたが、最近の好天で持ち直し、例年通りの収穫となりました。

同地区二区の小川吉猶さんは水稲甜菜、小麦の他、玉葱約11畝とサラ玉1畝を作付けています。

昨年より1日遅れの作業開始となった7月24日、朝から家族とパート従業員など20人がはさみを手手に、1個ずつ丁寧に葉や根を切り落とす。傷みやすいため、通常は機械を



▲手作業で葉や根が切り落とされ、収穫を待つ「サラ玉」

利用するこの作業も全て手作業で行います。

化学肥料を使わず、ボカシ肥料や有機肥料で土づくりに取り組み

「安全・安心を心掛けて育ててきたが、玉揃いも良く品質も上々。サラ玉は甘味があってサラダに最適なので、大勢の方々に食べてほしい」と話し、消費拡大を期待しており

ました。

おいしいスイカ収穫始まる

きたみらいすいか研究会

訓子府町で7月19日、スイカの収穫作業が始まりました。メロン、イチゴに続く「第三の果実」として生産者は手応えを感じています。

収穫を始めたのは、当JAの組合員で作る「きたみらいすいか研究会」の8戸です。

当JAは、ハウスの有効活用と農業所得向上につながり、レストランやホテルといった外食産業でのデザ

ートとして人気が高いスイカに着目し、農家組合員に呼び掛け、昨年4月に同研究会を立ち上げました。

メンバーの一人で畑作三品やタマネギ、メロンなど23畝栽培する同町柏丘の高城茂さんは「紅まくら」と「子玉スイカ」を1.65平方メートルで栽培。高城さんはこの日、出荷基準の糖度を上回りの収穫適期を迎えた小玉スイカの収穫を妻の美恵さんと始めまし

た。

1玉2ヶ前後に育ち、30個を収穫し、関東方面の市場に初出荷しました。高城さんは「昨年の経験を生かしてつるの管理を徹底した結果、甘くておいしいスイカができた」と笑顔で話してくれました。

同会は今季、8戸で2100平方メートル栽培



▲スイカの生育を確認しながら、丁寧にはさみを入れる奥さんの美恵さん

「紅まくら」の収穫は26日頃から始まり、2品種で6・5トの生産を見込んでいます。

INFORMATION

8 支部交流スポーツ大会

ドッジボールで

部員間親睦

JAきたみらい青年部

JAきたみらい青年部は7月12日、8支部交流ドッジボール大会を訓子府町スポーツセンターで開き、部員相互の交流を深めました。



▲タイミングを見計り攻撃する青年部員

同大会は、同青年部が2004年に設立された翌年から、支部間交流を目的に開かれ、8回目の今回は118人の青年部員が参加。計10チームがAコート・Bコートに分かれ、総当たり戦で競いました。

短い距離の中でパスを回しながら、タイミングを見計らって攻撃する迫力あるプレーに、拍手や大きな声援が送られました。終了後の懇話会では、11月のオホーツクJA青年部大会で開かれる「アームレスリング大会」の出場権を目指して、8人の部員が腕力を競い合いました。ドッジボール大会ではAコートで置戸・端野支部混合の渡辺チーム、Bコートでは上常呂・北見混合の川畑チーム、アームレスリング大会では訓子府支部の鏡浩二さんが、それぞれ優勝しました。



▲腕力を競い合ったアームレスリング大会



農廃プラ・ビニール400t回収

JA施設6会場にて、例年実施されている、農業用廃プラ・ビニール・使用済み廃農薬空容器の回収が6月13日から7月11日の期間で行われました。

施設園芸に使用される被覆用プラスチックフィルムやマルチ、その他農業資材の多くは一定の使用期間が経過すると廃棄されますが、その処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により適正な処理を行うことが農業生産者に義務付けられています。

しかし、農業者自らが法律に従った委託契約やマニフェスト（農業用廃棄物管理表）の作成・処理・保管をするのは困難なことから、JAは行政と連携して一括回収した後、処理を行っています。

本年は6月13日の置戸地区を始めとし、最終7月11日の訓子府地区まで延べ8日間、回収された廃プラ374t、ビニール17t、農薬空容器9tで合計400tと昨年より30tほど多く、回収された廃プラなどは処理業者へ搬送され、適正に処理されています。



▲上の写真は計量を終えトラックから降ろされる農ポリ(端野地区の倉庫施設)。下の写真は農ポリが詰められたフレコンの山(訓子府地区の麦乾燥施設)

第6回 理事会報告

7月30日、午後1時30分より第6回定例理事会が開催され、報告事項15件、議決事項6件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（営農、販売、ふれあい部門）報告について
- ②内部監査（個人情報・情報セキュリティ対策）報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤人事の発令について
- ⑥平成24年度夏期地区別懇談会意見集約について
- ⑦平成24年度作付実態調査の集約について
- ⑧作況調査（7月15日）報告について
- ⑨平成23年産共計玉葱、馬鈴しょの本精算について
- ⑩生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑪第9回きたみらい乳牛共進会の結果について
- ⑫青果物センター馬鈴しょ集出荷施設完成イベントについて
- ⑬平成24年産民間流通表の全道共計概算金について
- ⑭合併10周年記念事業実行委員会の設置について
- ⑮役員海外研修について

【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③内部統制整備に向けた取組方針の制定について
- ④当組合とのJA信用事業方法書の変更について
- ⑤7月5日・9日の降雹・集中豪雨による被害とその対応について
- ⑥平成24年度夏期地区別懇談会Q & Aについて

新理事が選任

第3回きたみらい農業協同組合の臨時総代会が6月29日、センター事務所大会議室で開催されました。高谷勲氏(置戸地区)と菅原吉和氏(端野地区)の両氏が議長を務め、提出議案の第1号「役員改選請求に基づく同意について」と第2号の「役員の補欠選任について」が審議されました。



審議の結果、2議案とも原案通り可決され、上常呂地区の鎌口幹雄氏が新理事に就任しました。

訂正とお詫び

先月号(114号)の「おひさまサラダ」で、次の通り誤りがありましたので、訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

■訂正箇所■

- 2ページの季節の薫り写真説明で
北見地区・豊地の大森泰正さんを→
康正さんに訂正

北見

ぼんちまつりで

JAアピール

役職員や生産者ら150人参加

北見市の夏を彩る「第59回きたみぼんちまつり」が7月20日から22日までの3日間、繰り広げられました。初日の「舞踊パレード」には、JAきたみらいの役職員や組合員、青年部、女性部、フレッシュユミズなど約150人が参加し、沿道の市民にJAをアピールしました。

パレードには、市内28団体約2500人が参加。JAや農業関係者は浴衣やJAのロゴマークが入った黄色の法被姿で加わり、中心商店街を元気に踊りながら練り歩きました。

JAの住宅ローンや共済のPRを描いた山車を引く小型トラックを先頭に「サンバ北見」のリズムに合わせて「きたみらい！きたみらい！むぎむぎむぎ！イモほってチョイ！タマネギチョイ！おいしいよ！」と威勢のよい掛け声を披露しました。

JA共済担当職員も沿道でパレードを見入る市民にファイルとポケットティッシュなどを配布し、JA生命共済の啓蒙活動を行いました。



▲JA共済のイメージキャラクター「アンパンマン」を山車に飾り、トラクターで引く青年部員



▲舞踊パレードで、JAをアピールする参加者のみなさん



【材料：4人前】
 スパゲティ ……………320g
 塩 ……………大さじ1と1/2
 辛子めんたいこ ……1腹(80g)
 マヨネーズ ……………大さじ2
 ミニトマト ……………1パック
 シソの葉(バジル) ……………20枚
 オリーブ油 ……………大さじ1
 塩・こしょう ……………各少々
 粉チーズ・タバスコ ……………適宜

冷製・めんたいパスタ

【エネルギー389kcal(1人分)】

【作り方】

- ①ミニトマトは2つに切る。シソは千切りにし、水に放してから、水分をふき取る(バジルは使う直前に手でちぎる)。
- ②めんたいこは薄皮を除き、マヨネーズとこしょうを加えて、混ぜる。
- ③スパゲティをゆでる湯、3ℓを沸かし、塩を加えて、表示通りにゆでる。ゆで上がった後、手早く水洗いして水気を切り、オリーブ油をまぶし、塩、こしょうを少々振る。スパゲティを②とあえる。器に盛って、ミニトマトとシソを飾る。好みに、粉チーズ、タバスコを振る。

メモ

夏はちょっと辛く、さっぱり。めんたいこはメーカーにより、塩辛さが違うので、味見をきちんとし調味料を加減しましょう。めんたいこはスプーンなどでこいて薄皮を取ると楽。ミニトマトをカットしてたっぷり。冷製なので、後から量や種類も加減できます。



【材料：4人前】
 鶏もも肉 ……………2枚(400g)
 塩・こしょう ……………各少々
 タマネギ ……………1/2個(100g)
 ショウガ ……………20g
 赤ピーマン ……………1個(150g)
 ピーマン ……………3個
 A 酢 ……………大さじ4
 塩 ……………小さじ1
 カレー粉 ……………小さじ1
 こしょう ……………少々
 サラダ油 ……………大さじ6
 キュウリ ……………1~2本
 サラダ油 ……………大さじ1

鶏肉のカレーマリネ

【エネルギー380kcal(1人分)】

【作り方】

- ①鶏肉は竹串などで皮に穴を開け、塩、こしょうを振る。タマネギ、ピーマンは1.5cm角に切る。ショウガも薄切りにする。
- ②ポウルにAを合わせる。ここに①の全部を入れ、よく混ぜて、冷蔵庫に1時間以上、漬けておく。
- ③フライパンに油を熱し、②の鶏肉を入れ、両面を色よく焼く。②の野菜も加えてさっと炒める。漬け汁も加えて、ふたをして、中まで火を通す。
- ④キュウリは半分に切り、皮むき器で全体を引く。皿に並べる。③の鶏肉は食べやすい大きさに切って盛り、野菜も載せ、汁も掛ける。

メモ

肉、野菜を下準備して、冷蔵庫に入れておく(前日からでも大丈夫)。しかも肉がふっくらしておいしくなります。野菜の種類や切り方も好みでどうぞ。肉を香ばしく焼いて盛り付ければ完成。キュウリの他にレタス、サラダなど手近なものです。

編集後記

- ・目をこすりながら、応援したロンドン・オリンピックも12日で閉幕ですが、日本選手の健闘に拍手を送りたいと思います。私たち編集委員も熱い感動を伝える広報づくりを目指した「おひさまサラダ」8月号をお届けいたします。
- ・夏らしい暑さが続くなか、小麦収穫を始めとした収穫作業が本番を迎えました。世の中は節電モードですが、無理しない範囲で体調に気をつけて、収穫の「金メダル獲得」を目指して頑張ってください。

(スタッフ一同)

JAきたみらい概要

(平成24年7月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,822人
- ・組合員数(准) 5,687人
- ・組合員戸数(正) 1,220戸
- ・貯金 100,335百万円
- ・貸出金 21,212百万円
- ・出資金 5,090百万円